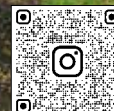




中庭プロジェクト



ホームページ



Instagram

きぼうの虹

秋号

発行所

北海道大学生協同組合
札幌市北区北8条西7丁目
教職員委員会編集
電話 011-746-6218

主な記事紹介

- 二面・三面 ニホンザルこぼれ話 第16話
四画 きぼうの虹フォトコンテスト審査結果発表!!
八画 大学文書館へ行く 第25回

令和6年度部局評価配分事業「各部署の強み・特色に対する評価」の採択をうけて『障害者や認知症高齢者等との協働に基づく地域共生社会モデル形成のための環境準備』（通称・中庭プロジェクト）が令和6年4月1日に始動し、昨年度から合計11回の中庭プロジェクトのイベントを開催しました。本プロジェクトは、保健科学研究院にある荒れ放題の中庭を、学生、教職員とともに地域の方や障害者が協働して整備することを通して、北海道大学における実践的な地域共生社会モデルを作ることを目的としています。さらに中庭プロジェクトを通して、地域課題の解決、研究および教育の好循環、地域住民の健康増進につながることを期待して本プロジェクトを進めています。

これまでの今年度のイベント活動を簡単にご紹介します。第1回（5月14日）…畑の土おこしと清掃作業、第2回（6月11日）…苗植えと恵先生による健康セミナー「丈夫に生きるための暮らしのギアチェンジ」、第3回（7月9日）…畑づくりと地域の参加者による戦争体験の講演、第4回（7月13日）…「NPO法人あえりあ」との合同イベントで重度障害を持つお子さんとご家族とのラベンダーの刈り取りと北大散策など、今年度だけでも204名と多くの参加者と一緒にイベントを進めてきました。また、中庭にて週に1

大学の庭が紡ぐ地域の絆

北海道大学保健科学研究院
地域共生モデル創発分野
特任助教

片岡 義明

Opinion!



回の頻度でラジオ体操を始め、中庭にきた方が健康になることを目標に活動を続けています。イベントの回を重ねるごとに、地域住民の方々と学生および教職員の間に、仲間意識やつながりが生まれているように思います。

いただきました。さらに、昨年度に進めた研究において、本プロジェクトが高齢者の若年者に対する印象を改善することを示しました。今年度は、地域在住高齢者および学生を対象とした本プロジェクトによる世代間交流プログラムの介入効果を検討する予定であり、研究視点からも本プロジェクトの効果を検討し、その結果を今後の活動のヒントにしていければと考えています。今後も地域の方々、学生や教職員とともに、中庭を中心に、お互いに助け合って、みんなで解決できるコミュニケーションを保健科学研究院から発信していきたいと思っています。このようなコミュニケーションが北大から始まり、全国に広がっていくことを望んでいます。詳細については、Instagram、X、保健科学研究院ホームページで随時更新していきますので、ご覧ください。



地域個性研究會 風張 喜子
大北海
学海
文道
書大
館学
井上
高聡

ニホンザル こぼれ話

■第16話■

えぞりんく EzoLin-K・地域個体群研究会 風張 喜子

サルたちの『出物』事情

突然ですが、最後にオナラをしたのはいつですか？今日？5日前？はたまた2か月前？ある製薬会社が300人に、1日のオナラの回数についてたずねた調査によると、10回が76パーセント、10〜20回は約7パーセント、それ以上は5パーセント。多くの人にはほとんど毎日、オナラをしているというわけですね。『出物腫れ物所嫌わず』と言いますしね（笑）。でも、信じられないことに、0回という人も11%ほどいるそうです。

さて、ニホンザルはどうでしょう。わたしがいつも観察している群れでは、めったにオナラの音を聞きません。オナラがよく聞かれる唯一の季節、それは、木の葉を食べる初夏のころ。食事中にも休憩中にも、あちこちで「プー」「スー」という音が聞かれます。この時期の糞は苦いような独特なおいがあります。オナラもなかなかのものです。そこそこ離れていても漂ってくるので、その威力はヒトのオナラ以上かもしれません。

ところで、ここ数年、テレビのCMでも時々耳にする『腸内フローラ』。ニホンザルでは、主食が何かで腸内の細菌の顔ぶれが違ふのだそうです。葉をよく食べる群れのサルのお腹には、植物の固い部分の成分を発酵させるのが得意な細菌が、果物をよく食べる群れよりも多く棲んでいるんだとか。細菌たちの発酵パワーを調べるには、サルの放りたてホヤホヤの糞に葉

の粉末を混ぜ入れた試験管を、人肌（サル肌）程度で保温します。すると、糞に含まれる腸内細菌たちが葉の発酵を始め、よく発酵するほど試験管の中にガスがたまりまます。

ガスをたくさん出したのは、もちろん、葉が主食の群れの糞だったそう。発酵実験に糞を提供したサルたちも、やっぱり、葉が主食の群れのほうがオナラをたくさんするんでしょうか？いつもの群れで、初夏にばかりおならの音が聞こえるのは、葉の固い部分を得意とする腸内細菌が大活躍しているからかもしれません。それにしても、実験中の実験室の匂いは、きつと森の香りとは別物だったに違いありません。

出物といえば、まずは糞・尿。これはもちろん、日常茶飯事です。長い休憩を終えて移動を始めるときに、ちよつとした岩に登ってプリプリ。視界のよい遊歩道でもプリプリ。糞のタイミングは比較的わかりやすい

のですが、おしつこのタイミングは、わたしはいまだにつかみきれません。しいて言えば、怖いオスに追いかけられるような極度に緊張する場面ではよく見かけます。「キャー——ッ」と悲鳴を上げて逃げ回りながら、放尿（同時に脱糞なんてこともよくあります）。ペットの犬の『びりしょん』みたいなものでしょうか。わたしたちヒトも、強い緊張を感じると尿意をもよおしやすいと言われていますね。

そのほか、季節限定で見かけるのは、鼻水です。冬の寒い日には、鼻の下がキラリと光るサルがちらほら。そういう私も、鼻水を垂らしながら観察しているのでお互い様です。

そういえば、サッカー選手は、試合中のピッチで上手に鼻水を飛ばすのとか。手も汚れず、とっても合理的ですね。サッカー好きの研究者仲間から教わり、こっそり何度か挑戦してみました。不器

いじわるじいさん

ミヤンマー（旧ビルマ）のサガインヒルに日本パゴダがある。太平洋戦争のインパール作戦の戦没者慰霊塔だ。1976年に遺族と生還兵たちが建立した。台石に刻まれた戦没者の中に私の叔父もいる

▼経緯を記す冊子には戦没者の最期が記されている。退路は雨季で食糧はなく、白骨街道と化したとある。戦後、広く知られるようになった悲劇の一つだ▼『暁の宇品』（堀川恵子著、2021年）は、広島陸軍の輸送拠点・宇品港を追跡。軍人達の未公開史料等を発掘し、戦時下の海上輸送の実態と軍中樞の対応を明らかにした▼1941年12月8日真珠湾攻撃の日、マレーシア沖で日本の輸送船が英軍に撃沈された。輸送船被災第1号だった。以降、米英軍は南方戦線でも、日本の輸送船を狙い続けた。資材不足で武装できない船は反撃できず、軍需品も糧秣も兵士も船員も海に沈んだ。かろうじて港に辿り着いても、陸揚げ物資に爆弾が降り注いだ。糧秣は、叔父のいる前線に近づく事さえできなかった。軍中樞は前線の悲劇を「敢闘精神の不足」と言い放った▼宇品から見た戦争の詳細を、戦後80年のいま知ったことに衝撃を受けている。作家の労作を読んで、体験者の話を聞けない現在、彼らが語り、残した記録に誠実に向き合うことが必要だと感じた。（今日子）



こみ上げてきて…ベロ出しながら小さく「オエッ」

当にタフです。

わたしたちの社会では、音がならないように誤魔化したり、女性用トイレでは音姫様が活躍したり。出物腫物とこる嫌わず。と言いつつも、わたしたちは「出物」を気にしながら生きています。自然に「出物」と付き合っているサルたちを見てみると、なんだかちょっとうらやましくもあります。わたしたちも、音やにおいくらいなら、肩の力を抜いて付き合ってみます…(笑)!!

後ぐったりする様子もなく、ピンピン過ごしていました。大ケガをしながら普段通りに過ごすのもそうですが、野生動物は本

用なわたしには無理でした。かといって、寒空の下で手袋を外し、震える手でティッシュ1枚ずつ出すのも面倒です。結局、わたしは、「垂れたらすってやり過ごす派」。

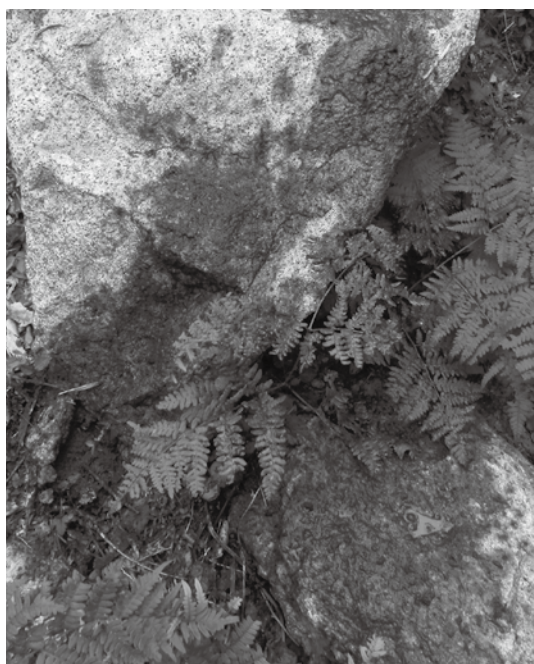
一方のサルたちは、重力に任せています。時には、□元まで垂れてきた鼻水を手の甲でぬぐいペロペロと…。もしかして、貴重な塩分を回収しているのかもしれません。誰もこどもの頃にやった経験があるでしょうけど、味としては案外悪くないですよ(笑)。

最後に、比較的いろんな季節

に見られるけど、ちょっと珍しいのが、ゲロです。毒キノコを食べちゃったのかな? 葉っぱの二次代謝物質にあたったのかな? それとも、ただの食べすぎ? もしかして、つわり?...とあれこれ想像してみますが、真相はわかりません。ちなみに「つわり」と言えるかはっきりしないものの、イヌや霊長類でも、妊娠初期には食欲不振や体重減少が起こるそうです。

ベロを出しながら何度もえずく様子は、見るからに苦しそうです。「オエッ…グエッ…カハッ

…」と繰り返すうちに、ついに消化途中の食べ物が口の中に戻ってきます。ところが、サルたちは、それを一生懸命飲み込むとするんです。せっかく時間かけて食べたもの、もったいなくて吐きたくないのかもしれない芸当です。むしろ全部出しちゃったほうが、すっきりしそうなものなのに…。それに、人間だって、食あたりの時は無理に吐き気止めを使わずに、吐いてしまったほうがいいと言いますよね。けれど、頑張ってゲロを飲み込んだサルたちは、その



こらえきれなかったのか、時には全部ぶちまけてしまうことも。岩の上を湿らせているのが、全部吐しゃ物。派手にやりましたね。匂いはあまり気にならず、葉が主食の時期だからか、色は深緑色。

第12回フォトコンテスト「北大百景2025」審査結果発表!!

審査員：生協学生委員会、生協院生委員会、留学生委員会、生協教職員委員会
特選および各賞入賞者の皆さんには、生協電子マネーポイントを贈呈いたします。

「きぼうの虹」フォトコンテストも今年で12回目となりました。7月1日から8月31日までの約2か月の応募期間で開催いたしました。学生、職員の皆様から構内様々な場所の美しい風景が多く寄せられました。全30点の素晴らしい作品の中から各審査員それぞれの感性に響いた作品として、特選1点、各委員会賞4点を選出いたしました。ほかにも素晴らしい作品が多く、今回全てをご紹介できないのが本当に残念です。応募していただいた皆様、本当にありがとうございました。

特 選

Wing

秦野 勇輝（大学院生）

夕焼けが綺麗な春の日、西の空に翼のような雲を見つけたので、農場の牛にプレゼントしました。

●審査員コメント

悠然と広がる農場と奥に映るポプラ並木がまさに北大らしさを表している1枚だと感じました。夕暮れの雲を牛の羽のようにとらえる観点には感銘を受けました。



学生委員会賞

揺蕩いー 風と水の対話

野口 真司（教職員）

夏の終わりの風に揺蕩う噴水の水面。きらめく模様は、刻一刻と姿を変えながら、光と影を映し出す。

●審査員コメント

雲一つない青空と日の光によって照らされる噴水の水面の一場面は、夏の明るさと静けさが同居しているように感じられるような1枚でした。北海道の短くも充実した夏が感じれました。



院生委員会賞

日暮の第一農場

轟 雨晨（大学院生）

授業帰り、夕暮れの第一農場を歩く。広い空に心がほどけて、光の輪に静かな希望を重ねた。

●審査員コメント

丸く切り取られた、いつもの農場。まるで、撮り手の持つ瞳というレンズからそのまま現像したかのような印象を受けます。じっと見つめていると、瞳の奥に吸い込まれそうになる、そんな1枚です。



留学生委員会賞

憩いの場

本田 真樹（学部生）

休日の大学で、綺麗な新緑が学生だけでなく様々な人を癒している様子が美しくシャッターを切りました。

●審査員コメント

北大の象徴的な場所の一つとも言える中央ローン。木々の緑はもちろん、水面に映った緑がとても美しく感じました。

学内から学外の人まで、すべての人の憩いの場であることを感じさせる写真だと思います。



教職員委員会賞

夕並木

明松 拓充（学部生）

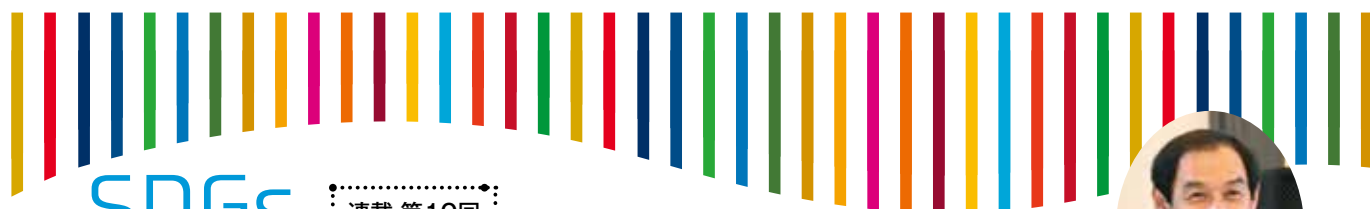
平成ポプラ並木を帰り際に撮ったものです。

●審査員コメント

「夕暮れ時でありながら、うっすらと暗く落ち着いたトーンが、どこか懐かしいような情景を心に静かに響かせます。

高くそびえるポプラ並木は、一日の終わりをそっと包み込むような優しい光に照らされ、まるで空へと伸びていくような力強さを感じさせます。その堂々とした佇まいと生命力に満ちた姿は、見る人に圧倒的な迫力を伝え、息をのむほどに印象的な一枚です。





SDGs

連載 第10回

大学の社会的価値を測る：インパクトランキングとESGの潮流

北海道大学SDGs事業推進部門 教授 加藤 悟



今年6月、タイムズ・ハイアー・エデュケーション（THE）の「インパクトランキング2025」が発表され、本学は世界第44位（昨年72位）、国内では6年連続で首位を獲得しました。日本国内で世界100位以内にランクインした大学は本学のみであり、2020年の本格運用開始以来、国内首位を維持しています。

このランキングは、国連のSDGs（持続可能な開発目標）の枠組みに基づき、研究、教育、スチュワードシップ、アウトリーチの4項目について、ほぼ均等の重みで評価されます。インパクトランキングは、大学が現代社会の課題にどのように応えているかを測る試みです。その中で本学が高く評価されていることは、非常に意義深いと言えるでしょう。

アウトリーチとは、大学が地域・国内・国際社会と連携して行う活動を評価するものであり、スチュワードシップは、教職員や学生などの資源をどのように管理しているかを評価します。これは企業における「ガバナンス」に相当し、目標達成への責任や、方針・戦略の明確さが問われます。

近年では、ESG（環境・社会・ガバナンス）という概念が企業活動に浸透しつつあります。ESGの起源は、2000年に当時の国連事務総長コフィー・アナン氏が提唱した「国連グローバル・コンパクト」にあり、2004年の国連レポートで初めて「ESG」という言葉が公式に使用されました。さらに2005年には、同氏が投資家向けに、ESG要素を投資判断に組み込むための国際的な枠組み（PRI）を提唱しています。

このように、企業や投資家の間で広がってきた社会的責任やESGの流れを、高等教育機関に適用しようとしたのがTHEインパクトランキングであると言えます。ここで使われる「インパクト」という言葉は、解釈が難しいながらも重要な概念です。

投資家にとっての「インパクト投資」は、財務的な収益に加え、社会的・環境的な効果（インパクト）を同時に追求する投資手法であり、収益性、効果の意図（明確な期待）、効果の測定と報告の3要素が不可欠です。従来の「リスクとリターン」のバランスに加え、「インパクト」という第三の軸が加わり、三者のバランスが求められるようになっていきます。

企業にとってのインパクトは、波及効果を意味します。製品やサービスは「アウトプット」、それによって受益者に生じた変化は「アウトカム」、そして社会全体に及ぼす長期的・間接的な変化が「インパクト」とされます。大学においても、文部科学省が社会的インパクトの可視化と報告を求める動きを進めています。

このように、「インパクト」は長期的かつ間接的な影響を指す概念であり、今後も議論と評価手法の進化が期待されます。投資分野では、経済社会全体の持続的成長による長期的な収益を目指す「ユニバーサルオーナー」の育成が進み、企業ではブランド価値や付加価値の向上に重点を置く動きが強まっています。

とはいえ、インパクトの評価はその性質上、非常に困難です。現時点で評価可能な要素としては、①インパクトを与える意図（ロジック）、②組織のガバナンス（方針や戦略の明確化）、③測定と報告の体制、④アウトプットの維持、の4点に整理できます。これらはTHEインパクトランキングの評価方法とも一致しています。

インパクトの評価は今後も進化していく分野ですが、国際的な外部機関が北海道大学を高く評価していることは、私たちにとって大きな誇りであり、今後の活動への力強い後押しとなるでしょう。



クラーク書籍便り

Vol.24

クラーク6月・7月一般書ランキング

	書名	著者名	出版社		書名	著者名	出版社
1	TOEIC L&R TEST 出る単特急金のフレーズ	TEX加藤	朝日新聞出版	6	債権各論 1	潮見佳男	新世社 (渋谷区)
2	史上最強SPI&テストセンター 超実戦問題集 2027最新版	オフィス海	ナツメ社	7	就職四季報企業研究・インターンシップ版 2027年版	東洋経済新報社	東洋経済新報社
3	国宝 下	吉田修一	朝日新聞出版	8	会社法	高橋美加	弘文堂
4	はじめて受けるTOEIC L&R テスト 全パート完全攻略	小石裕子	アルク (品川区)	9	きのう何食べた? 24	よしながふみ	講談社
5	民法演習 はじめて解いてみる16問	岩川隆嗣	有斐閣	10	民法 1-1	内田貴	東京大学出版会

法学専門書の新刊は堅実に売れていきます。『国宝』(上)(下)は映画化の影響もあってかよく売れています((上)もベスト10入りしています)。『民法 1-1』は前の版まで1冊だった「総則・物権総論」が2分冊になったものの「総則」編で、内田民法17年ぶりの最新版です。

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



思春期になって、いわゆる性の目覚めが起こる頃、かつて学校では、今は性的なものに関心を向ける時ではありません、勉強やスポーツや芸術に打ち込みなさい、といった指導が行われました。なんだか嘘くさいなあ、と感じていましたが、性的な欲求には様々な対人的欲求その他がからみ合っていますし、自他を傷つけず、社会的に認められるやり方で満たすためには、知識も経験もスキルも必要でしょうから、これはある面、適切な方法なのだろうと、今では思います。こころの仕組みから見ると、このように欲求をその本来の対象とは別の対象に向けて満たそうとすることは、「昇華」と呼ばれます。

複雑な要因がからむ性愛には、ユングが言ったように、「天国から地獄まである」のであって、リスクも大きい。国際日本文化研究センター所長の井上章一先生は確か、日本のアニメは世界のモテない男を救う、と書いておられました。なんでもサッカーの盛んな某国に日本文化に関する講義をしに行ったら、受講生はサッカーに縁の無さそうなモテなそうな男性ばかりだったそうで……でも、どこの国であれ、モテる人なんて、ほんの一握りですよ、多分。それに、知識と経験をたくわえてスキルを磨け、と言われても、そんな簡単にできるんでしょうか。恋をする人で失恋したことのない人は少ないでしょうから、恋に失恋はつきもの、と言っているでしょう。現実の性や愛には、痛みを伴わざるを得ません。

そんな風に考えると、「推し活」というのは、本当によくできた仕組みだと思います。アイドルにしろ、アニメの美少女・美青年にしろ、キャラクターにしろ、まず、とても安全性が高い。現在のホスト・クラブや、かつての遊郭での、生身の人間相手の疑似恋愛は、昨今、社会問題化しているように、かなり危ない面を持つものだと思います。それに較べると、「推し」の誕生日を祝う、といったことは、すごく安全だと思います（キティちゃん

こころの健康を考える 90

「推し活」の心理学

にも誕生日があつて、十一月一日だそうなのもつとも、推しに貢ぎ過ぎて困窮する人や、中には闇バイトに手を染めてしまう人もいるそうですから、まったく安全というわけでもないのでしょう。そもそも昇華による満足は真の満足とは異なるものであり、そのため際限なく追及してしまう危険がある、と言ったのは、米国の精神科医サリヴァンです。似て非なるもの、ということですね。半面、この際限なく追及してしまうという傾向が、膨大な「推し活」市場とでもいふべきものを生み出しているのだと思います、もしかすると世界規模で。

日本は、押しも押されぬ世界一のマンガ大国ですし、推し活は日本の発明でしようか。もしかしら日本文化は、昇華が得意なのかも知れません。いわゆるセックスレスという現象は日本において目立つとされますが、これは性的欲求が仕事への過度の没入により昇華されることにより起こると、精神分析医である私の師から教わったことがあります。あわせて示された、米国での親密関係における性愛の非常な重視とともに、鮮明な印象として記憶に残っています。

生々しく人と関わることを避けていいのか、という思いも無くはありませんが、でも、心理カウンセラーという職業柄、安心と安全は何よりも大切なものだと思います。カウンセリングの中で自分を見詰めることも、激しい感情をカウンセラーにぶつけることも、非常に厳しい作業だと思いますが、安心安全の基盤があるからこそできることでしょう。それにしても、心理的な安全志向の高まりは、一体なにを意味しているのでしょうか……

ほけんのお話

日本では毎年のように豪雨や大型台風などの自然災害が頻発し、人々の生活に甚大な被害をもたらしています。災害に遭遇した時、生活を再建するには、「自助」「公助」「共助」を組み合わせた対策が不可欠です。中でも、自助の要であり災害時の大きな支えとなるのが火災保険です。「火災」だけでなく、台風や豪雨による水災、強風による風災、電災・雪災といった自然災害による損害が補償の対象になりますが、火災保険契約に対する水災補償の付帯率は全国平均63%（損保協会2023年）で、毎年リスクが高まっている割には、年度別の都道府県別の付帯率はどこも微減傾向で上がっていません。水災補償を付帯すると保険料がずいぶん高いことが影響しているのでしょうか。

令和6年台風第10号の保険金支払い実績を見ると、火災保険の支払いが圧倒的に多く、洪水や高潮、強風などによる家屋の損壊が数多く発生したことを物語っています。また、台風や洪水で自動車被害を受けた場合は車両保険、災害の中で怪我をした場合は傷害保険の保険金の支払いが大きな金額であります。

公助は、被災者の生活再建を支援する公的な制度として「被災者生活再建支援制度」があり、再建に向けた大きな助けとなります。しかし、住宅の再建・修繕には多額の費用がかかるため、公的な支援だけでは不十分です。

火災保険料も安くはないので家計にとって負担ですが、被災時の突然の大きな出費のことを考えるならば、複数の保険会社を扱っている保険代理店に相談し、どこまでの損害を自分で負担し、どこからを保険で備えるか、ご自身のライフスタイルに合わせて、今一度ご自身の備えを見直してみたいかがでしょうか。

【令和6年台風第10号の保険金支払い実績】

	台数	支払保険金
車両保険	7,670	5,172,874
火災保険	66,463	47,125,154
新種・傷害保険	3,336	2,612,672
合計	109	54,910,700

※支払保険金の単位：千円 ※新種は動産保険など
※損保協会HPより

北海道協同保険サービス 生協会館店1階

(平日)11:00~17:00 (閉店~土・日・祝・年末年始)

TEL 011-726-0441

FAX 011-746-9065

Eメール hoken.cls@univ.coop

Vol. 44

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■オープンキャンパスで「北大生と話をしよう」など行いました！

8月3日、4日に行われたオープンキャンパスにて「北大生と話をしよう」「北大生と歩こう」「北大への羅針盤」という企画を行いました。「話をしよう」は受験生、保護者が北大生に受験や北大生活のことを聞いたり、相談したりできる企画です。「歩こう」は札幌キャンパス内を北大生と散策しながら、雑談や相談をする企画です。「羅針盤」は北大生の実体験をもとに受験や大学生生活について紹介する企画です。また今年も受験生応援冊子「NITOVE」の作成・配布を行いました。昨年を上回る参加者が集まりどの企画も大盛況でした。

■夏の店舗企画を行いました！

7月初旬から中旬にかけて食堂・購買にて企画を行いました！食堂では小鉢の商品の人気投票企画である「もうIPPINGグランプリ」、購買では「聖食巡礼」として書籍の中に登場する食べ物の商品の販売を行いました！

院生委員会

■北食エリア命名、実現間近です！

北部食堂のエリア命名企画に関して、イラストが完成しました！現在エリアマップを鋭意作成中、今年度中の掲示開始を目指します！



■今年度初の委員会を開催しました！

委員が就活や研究等で忙しい中、今年度に入って以降委員会を開催できずにいましたが、8月27日(水)に2025年度第1回の委員会を開催しました！

今年度は、院生を対象とした交流会を定期的に開催していくことが決まりました。第1回は10月31日に開催予定です！詳細は追ってお知らせしますのでお楽しみに！

留学生委員会

■百合が原公園で留学生向けの交流イベントを実施しました

主に留学生を対象に、札幌の街をより知ってもらい、親しんでもらうと同時に、今まで出会う機会のない留学生との交流を目的として、百合が原公園にてピクニックイベントを開催しました。約30名が参加し、ミニゲームや公園の散策を通じて交流を深めました。



教職員委員会

■教職員総代会議…6月10・12日、7月15・16日の昼休みにWeb会議により開催しました。5、6月期の決算報告や、無人化店舗について、クラーク書籍店の改修についてのご意見を頂きました。今後は対面での開催も取り入れながらさまざまなテーマでご意見をいただければと思います。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

■教職員委員会…6月12日、7月17日に定例会議を開催し、きぼうの虹の編集・フォトコンテストの詳細および総代会議の対面開催について話し合いました。

■「きぼうの虹」…この冊子です。毎回Opinionや特集ページなどで、多くの教職員の方にご寄稿をいただいています。

【編集後記】

今年の夏は、天気予報で最高気温が40度を超える日もあったように、記録的な暑さが続きましたが、皆さまいかがお過ごしでしたでしょうか。外での活動をためらうほどの陽射しでしたが、その分、室内でゆったりと過ごされた方も多かったかもしれません。また、落ち着いたかに見えたコロナの話が再び増え、油断できない日々が続いています。来るべき季節の変わり目に備え、どうぞご自愛ください。この機関紙が、皆さまの日常にささやかな安らぎを届け、心穏やかな秋の始まりを迎えられる一助となれば幸いです。

大学文書館へ 行こう

第25回

「中谷宇吉郎と 湯川秀樹のコラボ」

北海道大学大学文書館 井上 高聡



中谷宇吉郎の南画、湯川秀樹の画賛による作品

涼しげな一幅

現在、大学文書館では、中谷宇吉郎が描いた南画に、湯川秀樹が自作の短歌を画賛として記した掛け軸を閲覧室に飾っています。北海道らしからぬ夏の猛暑、初秋の残暑の中、目に爽涼です。中谷に教えを受けた松本篤二氏（一九五二年北大理学部卒業）の旧蔵品を、ご子息の松本健郎名古屋大学教授からご寄贈いただきました。

中谷宇吉郎（一九〇〇～六二年）は、一九三〇年の北大理学部創設時に着任し、人工雪の製作に世界で初めて成功したほか、低温科学に関する研究で多くの業績を上げた物理学

者です。学生時代に師事した寺田寅彦同様、随筆・絵画などにも優れ、「雪は天から送られた手紙である」という一文は有名です。

湯川秀樹（一九〇七～八一年）は京都帝国大学を卒業後、阪大・京大で理論物理学を研究し、戦後、一九四九年に中間子理論によりノーベル物理学賞を受賞しました。学者一家に育ち、漢籍や書画の素養があり、短歌・俳句をよくし、優れた随筆も残しています。

文科学者の交流

一九四〇年晩春、北大理学部が湯川を臨時講義に招きました。当時、湯川は「中間子理論」の研究により注目されて

いました。このときの湯川の講義を受講した理学部一年目の学生は、「中間子理論は理解できなかったが、分らないなりに感激した」といった意味の回想を残しています。ところが湯川はこのとき風邪をひき肺炎になって、医学部附属医院に一ヶ月入院をしました。退院後は静養が必要なた

め、夏の一ヶ月ほどを中谷家で過ごしています。中谷家を辞するとき湯川は、「病癒えて帰る行く身や 北国の人の情を 家苞（いえづと）にして」の歌を残し、中谷から受けた懇情を家苞（手土産）に持ち帰りました。

翌年には中谷夫婦が神戸六甲の湯川家を訪ねました。中谷は随筆「湯川秀樹さんのこと」の中では、同じ物理学者でも専門分野が全く異なったため、「会っても、いつも物理の話はほとんどしない。いわば道楽の方での友だち関係」、「私が南画を描いて、湯川さんが賛をするとい

う、別にはたに迷惑にはならない道楽」と、お互いの仲を記しています。

中谷は大学卒業後に寺田の影響で油絵を描き始めましたが、ちょうどこのころ、やはり寺田が墨で描いた南画を入手して大層感心し、同じように南画を描くようになりました。中谷は随筆「南画を書く話」の中で、「趣味が枯れて来たなどという洒落た話ではなく、油絵は描き上げるのに一〇時間以上掛かるが、南画は一、二時間あれば仕上がる」と記し、時間のない中、「無理なやり繰りをして、妙な墨絵を描いているところを見ると、よほど道楽者に生れついているらしい」と目評しています。

一方、湯川の方は、随筆「中谷宇吉郎さんの絵と私の短歌」の中で、「中谷さんは絵が上手で、いつも紙、墨、ハンコなどを持ち歩いている。二人が会食すると、必ず、まず中谷さんが絵を描き、そして自分に讃をしろと言う。仕方なく、歌か俳句をつくって、絵の中に入れる」と、少々迷惑気味です。しかし、「中谷さんは、どんなものでも絵の題材にされたが、型にとられない、なかなか味わいのある絵を描いた」と評しています。



中谷宇吉郎（1940年代）

湯川の北大再訪

一九四二年夏、二年前の臨時講義が中途半端に終わってしまったとして、律儀な湯川が再び北大を訪れ、講義を行いました。そのときの中谷と湯川、二人の文科学者のコラボ作品が、冒頭に記した掛け軸です。中谷がキキョウなどの秋草をあしらった南画を描き、湯川が自作の短歌の画賛を書いています。

あかだもの
葉末ゆすりて 吹く風の
涼しき夏に またあへるかな

「あかだも」はエルムのこと。再び訪れた北大キャンパスのエルムの枝が涼風に揺れる夏の情景を歌っています。



1940年、学士院賞恩賜賞を受賞した際の湯川秀樹（右から2番目）